

2019 年 8 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー
代表者名 代表取締役社長 白 岩 直 人
(東証・コード：7172)
問合せ先 取締役管理本部長 杉 本 健
(TEL. 03-6804-6805)

ANA ホールディングス株式会社との

オペレーティング・リース事業の案件組成について

当社 100%子会社の JP リースプロダクツ&サービスイズ株式会社は、このたび ANA ホールディングス株式会社（以下、「ANA ホールディングス」という）を賃借人とする航空機オペレーティング・リース事業の案件組成を行いましたのでお知らせいたします。

ANA ホールディングスの子会社である全日本空輸株式会社（以下、「全日空」という）は、この夏より導入する長距離国際線主力機のボーイング 777-300ER 型機の機内を最上級のくつろぎ空間に一新します。機内デザイン監修に日本を代表する建築家 隈 研吾氏とイギリスのデザイン会社 Acumen を迎え、先進的でありながらも日本らしさを取り入れ、落ち着きや温かみを感じられる機内空間へと生まれ変わります。ファーストクラスおよびビジネスクラスに約 10 年ぶりに導入する新シートをはじめ、世界初の 4K 対応のモニター導入、寝具や機内設備、機内食・機用品など、これまで以上にお客様一人ひとりの多様な過ごし方にお応えしていく仕様となっています。今回の対象機材は、2019 年 8 月より東京（羽田）ーロンドン間にて運航を開始する予定の国際線ボーイング 777-300ER 型機であります。

本件オペレーティング・リースは、全日空との相互の信頼関係の下、同社との初めてのリース案件となります。このたびのオペレーティング・リースの案件組成によって、ANA ホールディングスは資金調達の柔軟性や、一定期間のリース期間後に機体を返却できることなどオペレーティング・リースのメリットを享受することができます。また、投資家は、匿名組合契約に基づく出資割合に応じた事業損益の配分を受けることによって効率的な資金活用が可能となります。

当社グループは、航空機オペレーティング・リース事業を通じた航空機市場の発展、拡大に寄与するとともに、グローバル経済の成長と社会の持続的な発展に貢献してまいります。

今回の対象機材（ボーイング 777-300ER 型機）の詳細は、全日空の特設サイトをご参照ください。

※特設サイトはこちらまで

URL : <https://www.ana.co.jp/ja/jp/international/promotions/b777-300er/seat-new/>



本件に関するお問い合わせ先
広報・IR室
TEL : 03-6804-6805

以 上